

## 岩屋堂湿地を横断する濃飛横断自動車道

### ルート変更を求める署名

#### 【要旨】

私たちはハナノキを始めとする岩屋堂地域(中津川市千旦林)の豊かな自然と穏やかな住民の暮らしを守り、子孫に引き継いでいくため、次のことを要望します。

- 1.中津川市千旦林岩屋堂地区の中心部を通過する道路計画については、計画道路上及びその周辺に日本最大の規模で自生する絶滅危惧種ハナノキやその他の貴重な生態系を保全するため、ルートの変更を検討すること。
- 2.計画を再検討する段階では、道路建設が与える地域の水循環や周辺住民の暮らしの変化を通じた絶滅危惧種等への影響も含めて、水文学と植物生態学の専門家を含む委員会等による科学的な環境影響調査を行うこと。

#### 貴重なハナノキなど自然豊かな岩屋堂湿地と住民の暮らしを守ろう！

ハナノキは国内総数が 2,000 本に満たないと考えられる絶滅危惧種 II 類に分類される植物です。自生地の多くは 50 本以下の小規模なものであるのに対し、岩屋堂地域には、全体で 850 本を越える規模のハナノキが自生しています。実に日本のハナノキの半分近くが岩屋堂湿地に集まっている事になります。また、湿地にはハナノキ以外にも絶滅危惧種が多数存在し、日本でも有数の貴重な生態系を形成しています。濃飛横断自動車道は岩屋堂地域の中心部を通る為、この貴重な自然を破壊します。また、この地域を高層の道路によって真っ二つに分断する為、住民の生活機能は著しく障害されてしまいます。私たちは現在の豊かな自然と穏やかな暮らしを守り、子孫に引き継いでいくことを切に願います。

氏名	住所（都道府県から記入）

署名用紙が足りない時は、本用紙をコピーしてお使いください。

署名には年齢制限はありません。また、住所が同一であっても「同上」とせずにご記入ください。

【届け先】 中津川市坂本の湧水湿地を守る会 前田敬生  
〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川 1784-77

## 岩屋堂湿地を横断する濃飛横断自動車道

### ルート変更を求める署名について

約四百年前から地域の住人と深く関わりながら、共に生き抜いてきた岐阜県中津川市千旦林の湧水湿地（岩屋堂湿地）は、国際条約であるラムサール条約湿地として登録された「東海丘陵湧水湿地群」に匹敵し、全国でも東海地方のみに広がる貴重な湿地群です。当湿地で代表的なシデコブシやハナノキは、国や県、市が各地で天然記念物として指定し、環境省のレッドリストでは絶滅危惧種あるいは準絶滅危惧種として指定を受けています。

特にハナノキは、国内総数 2,000 個体に満たないと考えられる絶滅危惧種 II 類（環境省）に分類される植物種です。自生地のお多くは 50 個体以下の小規模なものであるのに対し、この岩屋堂地区には、780 個体を超えるハナノキの最大規模の個体群を中心として、近隣に小規模なハナノキ個体群が分布し、全体で 850 個体を越える規模のハナノキが自生しています。実に半数近くが岩屋堂湿地に存在しており、自生地としては国内（世界）最大と位置づけられています。ハナノキ以外にも絶滅危惧種が数多く存在し、貴重で多様性に富んだ動植物が密接に関連し合い、湧水湿地特有の生態系を構成しています。

ところが、岐阜県が推し進める濃飛横断自動車道の建設ルートは岩屋堂地域の中心部を通り、貴重な生態系を破壊する計画となっています。また、居住区を高層の道路によって真っ二つに分断する為、住民の生活機能が著しく障害され、穏やかな暮らしが奪われようとしています。

私たちは 7 月に複数の専門家によるシンポジウムを開催し、道路建設が湧水湿地に与える影響について学習しました。その結果、今回の計画が四百年間におよぶ自然の営みに、取り返しのつかない悪影響を及ぼす事を確信し、以下の理由をもって岩屋堂湿地を通るルート計画を変更するよう要望するに至りました。

- 1) 設定ルート上にハナノキの群生がみられ、県が説明するような「配慮したルート設定」の具体的根拠が公開されず現地調査が十分なされていない。
- 2) 多くの専門家によって、道路建設が岩屋堂湿地に生息・生育する貴重な動植物に取り返しのつかない影響を及ぼす事が明らかになっている。
- 3) 岩屋堂湿地を保全するためには、地質的にも岩屋堂地域全体を保全する必要がある。
- 4) 都市計画縦覧に対する意見書 390 件のうち、386 件が計画に反対、または見直しを求める意見であった。
- 5) 岐阜県が定める生物多様性ぎふ戦略では「貴重な動植物の絶滅を阻止し、里山を公的に保全する事」を目標としている。また、湧水湿地の重要性にも言及した上で、開発による埋め立てを懸念し、そのような場所の重要性について県民に啓発する事が謳われている。本道路建設計画は、それらの方針に真っ向から反発するもので到底容認できるものでない。

## 岩屋堂湿地を横断する濃飛横断自動車道

### ルート変更を求める署名

#### 【要旨】

私たちはハナノキを始めとする岩屋堂地域(中津川市千旦林)の豊かな自然と穏やかな住民の暮らしを守り、子孫に引き継いでいくため、次のことを要望します。

- 1.中津川市千旦林岩屋堂地区の中心部を通過する道路計画については、計画道路上及びその周辺に日本最大の規模で自生する絶滅危惧種ハナノキやその他の貴重な生態系を保全するため、ルートの変更を検討すること。
- 2.計画を再検討する段階では、道路建設が与える地域の水循環や周辺住民の暮らしの変化を通じた絶滅危惧種等への影響も含めて、水文学と植物生態学の専門家を含む委員会等による科学的な環境影響調査を行うこと。

#### 貴重なハナノキなど自然豊かな岩屋堂湿地と住民の暮らしを守ろう！

ハナノキは国内総数が 2,000 本に満たないと考えられる絶滅危惧種 II 類に分類される植物です。自生地の多くは 50 本以下の小規模なものであるのに対し、岩屋堂地域には、全体で 850 本を越える規模のハナノキが自生しています。実に日本のハナノキの半分近くが岩屋堂湿地に集まっている事になります。また、湿地にはハナノキ以外にも絶滅危惧種が多数存在し、日本でも有数の貴重な生態系を形成しています。濃飛横断自動車道は岩屋堂地域の中心部を通る為、この貴重な自然を破壊します。また、この地域を高層の道路によって真っ二つに分断する為、住民の生活機能は著しく障害されてしまいます。私たちは現在の豊かな自然と穏やかな暮らしを守り、子孫に引き継いでいくことを切に願います。

団体名

印

代表

住所・連絡先等

【本署名の請願内容に賛同致します。】

#### 【届け先】

中津川市坂本の湧水湿地を守る会 前田敬生  
〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川 1784-77